## 2024年度 科目シラバス

## ■科目基本情報

<sup>7</sup> 日至平 [] 积					
利	4目名	環境工学	科目コード	A260	
授業	時数/週	3 時間/週	年次・学期	2 年 ・ 前期	
必修/	/選択区分	必修	授業形態	講義	
担	当教員	新堂雄美			
教員♂	D実務経験	有:実務経験のある教員による授業科目	実務経験職種	建築設計	
職業実	践専門課程		連携企業等		
	備考				

■科

	廷防正木寺			
備考				
科目詳細情報				
授業概要	建築環境工学:建築環境が人体の健康などの及ぼす影響を学ぶ			
到達目標	建築空間に大きな影響を与える環境工学に関する知識の習得			
授業方法	講義形式による授業を行い、単元ごとに演習問題を実施する。			
実践的教育の内容	当該授業科目を担当する教員は、設計事務所にて各種構造の住宅や集合住宅、その他建築物の設計・管理に携わっていた経歴があり、事例を通して実務に則した授業を行う。			
成績評価方法	筆記試験 100% 筆記試験 0% 実技試験 0% 課題評価 0% 平常評価 0% 合計 100%			
授業外における学	特になし			
教科書・教材	「図説 やさしい建築環境」学芸出版社 ISBN:978-4-7615-2476-0			
参考文献・資料	参考資料を随時配布する			
履修上の留意点	特になし			
	第1週 建築音響計画① 音の基礎と音の伝搬 第2週 建築音響計画② 室内音場 第3週 音環境の評価 第4週 建築音響計画④ 演習問題実施 第5週 建築光環境計画① 太陽エネルギーと居住環境 第6週 建築光環境計画② 自照の検討			
	第7週 日射の検討 日射の検討 第8週 建築光環境計画④ 演習問題実施			
授業計画	第9週 視環境 机環境			
	第10週			
	第11週 建築照明環境計画③ 各種照明の計画			
	第12週 建築照明環境計画④ 演習問題実施			
	選案空気環境計画① 第13週 居室内の良好な空気環境の維持			
	建築空気環境計画② 第14週 居室内の良好な空気環境の管理			
	第15週 建築熱環境 建物の伝熱メカニズムの理解			
	第16週 建築熱環境 建物の伝熱メカニズムの理解			
	建築熱環境 第17週 建物の伝熱メカニズムの理解			